

事務事業名	飯野女性防火クラブ運営費交付金事業		所属部局	消防本部		単位番号	13066					
			所属課室	消防課		課長名	芦沢俊一					
			所属担当	地域消防		担当者名	森本浩人					
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
		06	安全な環境づくり		01	一般	09	01	02	03	01	5
政策		08	防災体制の充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金							
施策												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	消防組織法、消防法							
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)											
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 飯野女性防火クラブは、平成11年8月1日に防火防災思想の普及を図ることを目的に発足、特に消防団員の就業状況の変動に伴い、昼間の火災等の災害に備え、毎月1回定期的に可搬ポンプの点検整備及び消火栓等の取り扱い操作方法的の熟知、ポンプの操作方法等消防活動の基礎訓練を実施し有事に備える団体であり、その支援をしている。				事業費の主な内訳 (22年度)							
					項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
					交付金		140					
									計		140	

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動		⇒		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
22年度活動実績	飯野女性防火クラブの消防活動の補助			名称	単位
23年度活動予定	飯野女性防火クラブの消防活動の補助			飯野地区	箇所
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⇒		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
飯野女性防火クラブ				名称	単位
				クラブ員の数	人
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)		⇒		⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
火災の予防及び消火活動の補助				名称	単位
				活動の補助があつてよかったと思ったクラブの数	人
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)		⇒		⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
飯野地区の安心・安全				名称	単位
				飯野女性クラブがあつて良かったと思った地区民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	150	140	140	140	140	140	
		事業費計 (A)	千円	150	140	140	140	140	140	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50	
		人件費計 (B)	千円	223	223	198	198	198	198	0
		(A)+(B)	千円	373	363	338	338	338	338	0
活動指標	アイウ	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	アイウ	人	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0		
対象指標	アイウ									
	アイウ	人	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0		
成果指標	アイウ									
	アイ	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	飯野婦人消防クラブは、平成11年8月1日に防火防災思想の普及を図ることを目的に発足、特に消防団員の就業の変動に伴い、昼間の火災等の災害に備える団体である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	地元の飯野地区を中心に積極的に広報活動を行っている。今後も地域に根ざした活動を依頼したい。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	最近では住宅火災警報機の設置に関しても積極的に学び、啓発活動を行っている。市の補助対象外の1人暮らし高齢者を中心に活動しており地域から喜ばれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	今後も、事業実績報告や収支決算報告書の提出を依頼し、交付金が適正に使われているか確認していく。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	事業実績報告や収支決算報告書にて収支状況を確認する。

事務事業名	飯野女性防火クラブ運営費交付金事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	-------------------	-----	------	-----	-----

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓] 防火防災思想の普及を図ることを目的に発足、昼間の火災等の災害に備える団体である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 地域での消防に関する広報活動を積極的に行っている。また、消防団員ではないので団員報酬は出していないが、南アルプス支部演習にも参加しているので、妥当だと思われる。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] 消防団員は、仕事があるため昼間の活動は困難である。今後昼間地域で活動出来る女性防火クラブは重要であると思われる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 今後、益々女性防火クラブは必要性が出て来ると思われる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] 地元の高齢者や1人暮らし老人等から苦情が出る。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓] 地域の事を考えると廃止は難しい。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 地域で積極的に活動しており、ボランティア活動しているので難しいと思われる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 削減の余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 今後、他地域でも女性防火クラブは必要性が出て来ると思われる。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	消防団員が減少傾向にある中、消防の重要性を担う女性の集まりであり心強いものである。今後も継続していただきたい

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①現状維持。																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①現状維持に努めるため必要なし。		成果優先度評価結果	⑥																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑨																					